

今を未来に

新型コロナウイルス感染症に係る偏見や 差別をなくすための取組について

平素は、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。また、このコロナ禍の中で、本校が子ども達の学びを確保できておりますのは、保護者の皆様にご理解とご協力をいただいているからであり、重ねて感謝申し上げます。

さて、本校では、日頃より感染防止対策に取り組んでおりますが、学校や家庭、社会において感染のリスクをゼロにすることはできず、誰もが感染する可能性があります。

こうした状況を踏まえ、子ども達とともに感染防止対策の重要性を確かめたり、自分や友だちが感染することを想定し自分自身の行動について考えたりする学習を進めているところです。本校の誰もが感染したとしても、治療後には再び安心して通える学校づくり、学級づくりを進めているところです。

保護者の皆様におかれましても、感染者やその家族に対する誹謗中傷、偏見や差別をなくすための取組へのご理解とご協力をお願いいたします

地域社会においては、残念ながら、感染者に対する誹謗中傷が行われたり、感染者が特定されるような情報が拡散されたりするなどの人権侵害が発生しています。もし、保護者の皆様の身の周りで、こうした人権侵害があったときには、同調せずに『自分や自分の子どもが感染して、同じことをされたらどう思うのか。』など声をあげていただきたいと思います。そうした行動が、発言者に気づきや自制を促し、安心できる学校や地域づくりにつながっていくと考えます。

また、お子様やご家族の方に発熱等の症状があった際は、ためらわずにご連絡いただきますようお願いいたします。感染が判明した場合は、治療後の対応について、学校としてできる限りのことをしてまいります。

今後も引き続きご支援、ご協力をお願いいたします。

第3回保々小中学校運営協議会実施

10月20日（火）に第3回保々小中学校運営協議会を保々中学校で実施しました。当日は、中学校の全クラスの授業風景を参観させていただき、その後、図書室で学校運営協議会を実施しました。

会議では、授業参観での児童・生徒の様子や、学校運営委員会主催事業の取組と今後の予定、各種情報交換等をおこないました。

学校側（小・中両校）からは、新型コロナウイルス感染症対策や、学力向上に向けた取り組み、学校行事の縮小と変更、『いじめ・不登校』の把握と対応策、SNS問題等についてお話をしました。各種情報交換では、各委員より次のようなご意見やご質問がだされました。

・以前より挨拶ができるようになったと感じる。立ち止まって、会釈してくれる児童生徒もいる。

【Q1】ICT教育におけるタブレットの導入状況はどうなっているか？

・5～6年生分のタブレットがそろったので、2学期から各教科で活用を始めている。

【Q2】小学校における英語科の授業状況はどうなっているか？

・『読むこと』『書くこと』『話すこと』を大切に、各担任が授業を行っている。定期的に HEF（外国人の先生）が授業に入り、ネイティブな英語に触れさせている。また、『学びの一体化』で、中学校の英語教諭にも授業に入ってもらい、定期的な交流授業を行っている。

【Q3】学校運営協議会主催除草作業で、人数は十分たりているか？

・十分とは言えないが、今後一人でも多くの方に参加してもらえるように周知徹底を図るとともに、学校運営協議会委員の方にも参加を呼びかけご協力を仰ぎたい。

第2回生活習慣チェックシートの結果から

10月26日（月）から11月1日（日）までの1週間、『第2回生活習慣チェックシート』の取り組みを全校で実施しました。各家庭での保護者の皆様のご協力、ありがとうございます。今回の子ども達の生活習慣チェックシートの結果を見ると、全校的に次のような傾向が見られました。

- ① 決まった時間に就寝したり、起床できる児童の割合が高く、基本的な生活習慣が身についている児童の割合が高い傾向があります。
- ② 復習や予習などの学習に費やす時間が短い傾向にあり、個人による格差が広がっています。
- ③ テレビ・ゲーム・携帯・スマホ・パソコン等に費やす時間が長く、時間のマネジメントができない児童の割合が前回より増加傾向にあります。
- ④ 読書にかける時間が少ない傾向にあります。中には、読書時間が全くない児童も見受けられます。

以上のような全校的傾向がみられました。

②については、配布済みの『家庭学習のてびき』等を参考にして、宿題だけでなく、復習や予習にも一定の時間をかけて取り組む習慣を身に着けることが、基礎学力の向上につながると思います。

③については、コロナ禍の中で、外遊びを避け、家庭内での時間が増えていることも要因の一つと考えられます。家庭内で保護者と子どもが話し合い、時間のマネジメントが図れるルールをつくり、テレビ・ゲーム・携帯・スマホ・パソコン等に費やす時間を一定時間内におさめる取り組みが必要であると強く感じました。

⑤については、昨年度の全国学力学習状況調査からも読書不足が大きな課題となっています。読書量が少ない児童は、読解力にかけ、文章から多くの情報や内容がつかみきれず、文章内容の趣旨の理解が低い傾向があるとされています。その結果、テストなどで問題の意味がつかめず回答できない場面が生じたり、国語科以外の他教科での学習内容の習得にも影響を及ぼすことが心配されます。そこで、読書を通して文字に触れることで、読解力の強化をはかり、学力向上に向けての基礎固めを図ってほしいと思います。

また、読書を通してさまざまな知識を習得したり、疑似体験をすることで、自分自身の生活に潤いを与えたり、人生のピンチに出会った時に解決の糸口を与えてくれたりします。そういった意味からも、各家庭でお子様に読書を進めていただくとともに、保護者の皆様にも読書をしていただいて、家庭に読書文化の華をさかせていただきたいと思います。

令和2年度年末交通安全県民運動

12月1日（火）から12月10（木）まで年末交通安全県民運動がはじまります。交通事故死者数全体の約半数を占める高齢者と、次代を担う子どものかけがえのない命を、道路における危険からまもることを目的に、本年度も実施されます。特に、飛び出しによる交通事故や、重大事故の多発が懸念される夕暮れ時と夜間の交通事故に注意しましょう。子どもたちが、交通事故の犠牲にならないように、ご家庭でも交通安全の一声をお子様にかけてください。